

新型コロナ対策の中で考える『薬はだれのものか』 —医薬品へのアクセスと市民社会—



- ◆ 日時:7月23日(木)18:30~20:00
- ◆ 話題提供者:稲場雅紀さん (特活)アフリカ日本協議会(AJF) <http://ajf.gr.jp/>
AJF国際保健部門ディレクター、(一社)SDGs市民社会ネットワーク政策顧問
- ◆ 対面&Web併用開催
- ◆ 定員:対面10名+Web50名(Zoomミーティング利用)
- ◆ 会場:JICAなごや地球ひろばセミナールームB1-2
<https://www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/information/access.html>

- ◆ 参加費:500円

全世界が同時に直面している新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の危機に際して、「ワクチン・治療薬等を国際公共財とし、全ての人に平等なアクセスを」という構想が生まれています。ただ、これは全世界の支持を受けて進められているわけではなく、「グローバルな対応」と「利益の囲い込み」という相反する動きが混在しているのが、COVID-19をめぐる現実となっています。

(AJFウェブサイトより抜粋)

BiPHは昨年、映画「薬は誰のものか」視聴&勉強会を開催し、「公共財としての薬」をめぐる世界の動きを学びました(AHIとの共催)。COVID-19が様々な格差を生みつつある今、稲場さんのお話を聴きながら、改めて「薬へのアクセス」と市民社会のありようについて考えたいと思います。

左から2番目が稲場さん (AJFウェブサイトより)

- ◆ 支払方法:会費に上乗せ(BiPH会員のみ)、または以下の口座へお振込み下さい。
ゆうちょ銀行00870-9-126227 または 三菱UFJ銀行石川橋支店(普通)0055288
シャ)ブリッジズインパブリックヘルス)
- ◆ 申込方法:BiPHのWebサイトからお申し込みください。その際、氏名の横に参加方法(対面またはWeb)と支払方法(会費・ゆうちょ・UFJ)を加えてください。(例: 瑞穂B子、対面、ゆうちょ)

<http://plaza.umin.ac.jp/biph/study/1241/>



- ◆ 申込み締め切り:7月18日(土) *口座振込の場合は同日までにお振込みもお願いします。

【お問い合わせ】

一般社団法人Bridges in Public Health事務局

〒467-0027 名古屋市瑞穂区田辺通1丁目22-2

TEL:052-846-5878

Mail: biph-adm@umin.ac.jp

URL: <http://plaza.umin.ac.jp/biph>

FB: www.facebook.com/biph.adm

